

週間漁海況情報 2020年第5号

令和2年2月4日発行

☆次回第6号は2月10日月曜日に発行いたします。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

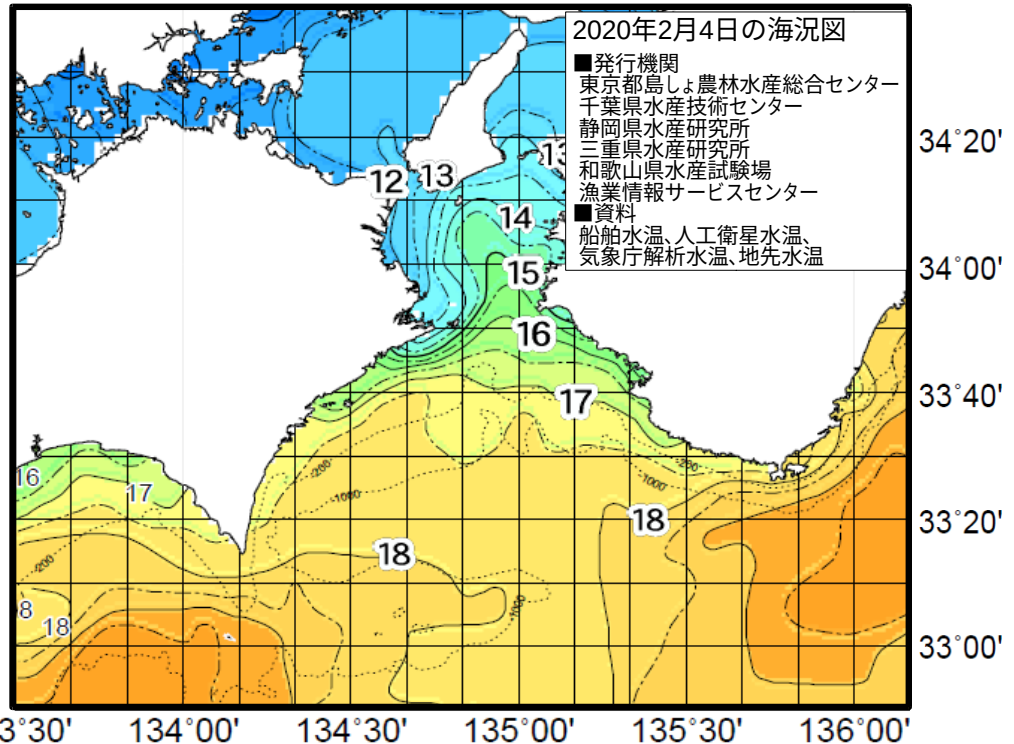
海況

1. 周辺海域の水温等

黒潮は、室戸岬沖を「やや離岸」、潮岬沖を「著しく離岸」して流れている。黒潮の表面水温は20℃～21℃台。

徳島周辺海域の水温は、播磨灘は11℃～12℃台、紀伊水道徳島側は11℃～14℃台、海部沿岸は14℃～17℃台となっている。

海部沿岸への暖水波及は弱まっているとみられるが、内海系冷水の南下もほとんど見られない状態となっている。



1月27日～28日の荒天の影響で特に海部沿岸で漁獲量が少ない。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

延縄では、ブリがめじろ級主体に0.5ト、タチウオが特大主体に0.3ト水揚げされた。

建網では、カワハギが減って大主体に0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、ボラが大きく増えて大主体に1.1ト、マアジが小小主体に0.5ト、マダイが大きく増えて0.5ト、ブリが減ってめじろ級主体に0.3ト、イサキが大きく増えて大主体に0.2ト、ヒラメが増えて大主体に0.2ト、カワハギが大きく増えて大主体に0.2ト、すずき類が増えてヒラスズキ主体に0.2ト水揚げされた。

底びき網では、コウイカが減って大主体に0.8ト、シリヤケイカが大きく増えて0.5ト、えそ類が減って0.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、タチウオが0.7ト水揚げされた。

延縄では、ブリが大きく増えてぶり主体に0.3ト水揚げされた。

大型定置網では、マサバが減って1.1ト、ブリが大きく増えてつばす主体に1ト、マダイが大きく増えて0.3ト、ゴマサバが大きく増えて大主体に0.3ト、メジナ（ぐれ）が増えて中主体に0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	延縄	17	ブリ	502	30	めじろ級主体	→
		15	タチウオ	322	21	特大主体	→
	建網	20	カワハギ	242	12	大主体	↘
	小型定置網	14	ボラ	1,082	77	大主体	↗↗
		20	マアジ	508	25	小小主体	→
		18	マダイ	480	27		↗↗
		13	ブリ	306	24	めじろ級主体	↘
		7	イサキ	246	35	大主体	↗↗
		19	ヒラメ	242	13	大主体	↗
		17	カワハギ	232	14	大主体	↗↗
		15	すずき類	219	15	ヒラスズキ主体	↗
	底びき網	29	コウイカ	826	28	大主体	↘
		20	シリヤケイカ	514	26		↗↗
		23	えそ類	442	19		↘
海部沿岸	釣り	13	タチウオ	721	55		→
	延縄	4	ブリ	253	63	ぶり主体	↗↗
	大型定置網	4	マサバ	1,051	263		↘
			ブリ	972	243	つばす主体	↗↗
			マダイ	300	75		↗↗
			ゴマサバ	254	63	大主体	↗↗
			メジナ	201	50	中主体	↗